

科目名	産業財産権論	JABEE科目	科目コード 047
-----	--------	---------	--------------

学年・学科等名	4・5 学年	全学科	選択科目
単位数・開講期	1 単位	後期	
総時間数	45 時間	講義＋教室内自学自習 30 + 自学自習 15	
担当教員	谷口 牧子		

本校の教育目標	1	一般人文科の教育目標	3
---------	---	------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	105一般基礎科目社会系
	教育プログラムの学習・教育目標	B-1(20%) B-2(50%) B-3(30%)
	JABEE基準	abd

教科書名	産業財産権標準テキスト(特許庁編)
参考書	適宜紹介する

A. 教育目標

グローバル化の視点から産業財産権関連法についての理解を深め、産業財産権をめぐる紛争等を通して不正競争防止法や製造物責任法との関連を学び、特許明細書の書き方や特許電子図書館の検索実習等を通して産業財産権に関する実務的な知識を身に付けることを目指す。

B. 概要

産業財産権の重要性および不正競争防止法や製造物責任法との関連を学んだうえで、特許明細書の書き方を習得する。

C. 学習上の留意点

日本が今後も国際社会において技術立国の地位を保つには、特許等の取得を意識した技術開発を目指すことが技術者たちに求められていることを認識する。

D. 評価方法

試験(90%)、レポート(10%)で評価する。

E. 授業内容

授業項目	時間	内 容	教育プログラム
I 産業財産権制度の誕生と産業発展の歴史	6	産業財産権制度が国の産業発展にどのように貢献しているのかについて理解できる	B-1,2
II 産業財産権関連法概説	8	産業財産権制度に関する条約から国内法までの概要を理解できる	B-2
III 産業財産権をめぐる争訟と不正競争防止法および製造物責任法	8	知的財産権をめぐる国内外の紛争を素材として、特許を中心とした知的財産権の重要性を理解できる 産業財産権と不正競争防止法との関連を理解できる 産業財産権と製造物責任法との関連を理解できる	B-2
IV 特許と発明 特許明細書関係の実習 特許電子図書館の利用	8	産業財産権の中で最も重要である特許に関し、明細書の書き方や電子図書館の利用を通して、実務上の具体的な出願方法を理解できる	B-1,2,3
(期末試験)			
◆自学自習 予習・復習 定期試験の準備	15		B-1,2,3

F. 関連科目

社会、地理、歴史、経済学、政治学、法学、史学、哲学、国際関係論、各専門科目